

令和4年秋季講演会 講演プログラム

日時：2022年11月17日（木），18日（金）
場所：神戸国際会議場 + オンライン（Zoom）

11月17日（木）

講演者

著者

時間

表題

【第1会場 Room 1】

- 10:00 ~ 11:20 **オーガナイズドセッション (OS1) 次世代の自動運航と制御技術**
Automatic control and operation technology
オーガナイザー：牧敦生 (大阪大学), 澤田涼平 (海上技術安全研究所)
Organizer: Atsuo Maki (Osaka University), Ryohei Sawada (National Maritime Research Institute)
CPP, 舵とバウスラスト装備船に位置決め制御を応用した離着岸システムの設計 羽根冬希
岸壁への幅寄せ制御についてのシミュレーション 笛木雄太, Dimas M. Rachman, 小池弘顕, 牧敦生
船長航路と等価な着岸航路の自動生成手法 巢山凜, 牧敦生, 宮内新喜
タグボートの首振り式推進器の流体力特性に関する研究 森澤拓哉, 佐野将昭, REASEY SIMANN
- 14:00 ~ 17:00 **オーガナイズドセッション (OS1) 次世代の自動運航と制御技術**
Automatic control and operation technology
オーガナイザー：牧敦生 (大阪大学), 澤田涼平 (海上技術安全研究所)
Organizer: Atsuo Maki (Osaka University), Ryohei Sawada (National Maritime Research Institute)
実船の離着岸データを用いたシステムモデルの推定に関する基礎的研究 神原太地, 宮内新喜, 細萱和敬, 牧敦生
自動運航船開発に適したシミュレータモデルとは 宮内新喜, 澤田涼平, 和田翠星, 谷口拓也, 濱田暁, 小池弘顕, 脇田康希, 牧敦生
操縦性能モデリング自動化のための港内操船の動的モデル 宮内新喜, 秋本洋平, 梅田直哉, 牧敦生
実船試験結果を用いた高速滑走艇のシステム同定 濱田暁, 宮内新喜, 梅田直哉, 牧敦生
内航船の離着岸における操船及び運動の統計的性質 宮内新喜, 神原太地, 梅田直哉, 細萱和敬, 牧敦生
MMGモデルを適用した非線形カルマンフィルタの実装に関する一考察 小池弘顕, Leo Dostal, 澤田涼平, 宮内新喜, 牧敦生
自動避航操船アルゴリズムのための評価用交通シナリオセット設計 澤田涼平, 南真紀子
外部依存しない天文航法の自動化に向けた自動索星技術に関する研究 脇田康希, 牧敦生, 羽根冬希, 秋本洋平, 梅田直哉

【第2会場 Room 2】

- 10:00 ~ 11:20 **一般講演 (GS5) 波浪中流体力 Hydrodynamic force**
司会：吉田尚史 (ジャパン マリンユナイテッド株式会社) Chair: Hisafumi Yoshida (Japan Marine United Corporation)
- 10:00 ~ 10:20 短波長波中を斜航する船に働く定常波力推定法について 鈴木良介, 上野道雄, 塚田吉昭
- 10:20 ~ 10:40 多点計測による船体表面圧力分布を用いた流体力の算出 - 第1報：線形流体力 - 鈴木寛太郎, 岩下英嗣, 飯田隆人, 柏木正, 若原正人, 箕浦宗彦
- 10:40 ~ 11:00 多点計測による船体表面圧力分布を用いた流体力の算出 - 第2報：波浪中抵抗増加 - 鈴木寛太郎, 岩下英嗣, 飯田隆人, 柏木正, 若原正人, 箕浦宗彦
- 11:00 ~ 11:20 CTVから浮体式変電所への作業員移乗に関する研究 高木健, 中川寛之
- 14:00 ~ 16:40 **オーガナイズドセッション (OS4) 水波工学のすすめ ~別所理論の今日性~**
An Encouragement of Water Wave Engineering -The modernity of Bessho's papers-
オーガナイザー：木原一 (防衛大学校)
Organizer: Hajime Kihara (National Defense Academy)
別所の潮汐波一次元理論 一色浩
3次元浮体式波浪発電装置の浮体形状について 経塚雄策
動的弾性波の放射, 散乱問題 - 水波工学, 電波工学の観点から - 河邊寛
鉛直円筒コラムに働く波浪変動圧と漂流力の理論 柏木正
A New Computation Method for Added Resistance and Connection with Lagally's Theorem Masashi Kashiwagi
排水量型高速船の制約条件下における最適船型に関する研究 岡畑豪, 佐久間俊
半潜水式重量物運搬船の概念設計と波浪中性能について 森洋輔, 木原一, 佐久間俊

【第3会場 Room 3】

- 10:00 ~ 11:20 一般講演 (GS12) 船体構造強度 Ship hull strength
司会：生島一樹 (大阪公立大学) Chair: Kazuki Ikushima (Osaka Metropolitan University)
- 10:00 ~ 10:20 船体構造のパネル強度評価の統計予測に基づく計算法 松井貞興
- 10:20 ~ 10:40 Toward the Development of an Algebraic Formula for the Scantlings of Ship Liquid Tanks Considering Sloshing Impacts Timoteo Badalotti, Katsutoshi Takeda, Tsutomu Fukui, Tingyao Zhu, Mohamed M. Kamra, Changhong Hu
- 10:40 ~ 11:00 平板構造の溶接初期たわみのベイズ統計モデル化とその最終強度評価 - 第2報：初期たわみ成分間の相関の考慮 - 景山裕司, 辰巳晃
- 11:00 ~ 11:20 全球測位衛星システムを用いた船体運動および変形計測のための基礎的検討 栗崎弥麻登, 藤公博, 平川真一, 河尻義貴, 古川浩太郎, 三上航平, 村山英晶, 柳原大輔
- 14:00 ~ 15:20 一般講演 (GS13) 洋上浮体 I Floating platform I
司会：村井基彦 (横浜国立大学) Chair: Motohiko Murai (Yokohama National University)
- 14:00 ~ 14:20 An Experimental Analysis on Motion Characteristics of a Closed Fish Cage including Internal Sloshing Flows Shuchuang Dong, Huaizhi Zhao, Jinxin Zhou, Qiao Li, Daisuke Kitazawa
- 14:20 ~ 14:40 A Numerical Analysis Tool for TLP Met Mast Development Lei Tan, Changhong Hu, Yingyi Liu
- 14:40 ~ 15:00 波力発電装置の時間領域計算に関する基礎的研究 三浦一樹, 飯田隆人
- 15:00 ~ 15:20 Experiment Study of Aircushion-type Platform with Simplified Models and the Measurement of Inner Wave Fields Yining He, Shinichiro Hirabayashi, Shigeru Tabeta, Motoko Imai, Yuuki Yamashita
- 15:40 ~ 17:00 一般講演 (GS14) 洋上浮体 II Floating platform II
司会：二瓶泰範 (大阪公立大学) Chair: Yasunori Nihei (Osaka Metropolitan University)
- 15:40 ~ 16:00 2方向2成分規則波中における緩係留FOWTの大振幅長周期動揺に対する波向の感度解析 河岸立起, 村井基彦
- 16:00 ~ 16:20 浮体式風力発電設備の長周期Yaw問題及び対策に関する一考察 太田真, 村井基彦, 大高武己, 近藤柊斗
- 16:20 ~ 16:40 コラムを有する円柱状構造物に働く波荷重モデル 伊藤樹里, 宋明良
- 16:40 ~ 17:00 コラムを有する円柱状浮体の3自由度運動モデル 山口生真, 宋明良

【第4会場 Room 4】

- 10:40 ~ 17:00 オーガナイズドセッション (OS2) 北極域研究船と北極研究を支える氷工学研究
Arctic Research Icebreaker and Ice Engineering Research
オーガナイザー：宇都正太郎 (北海道大学)
Organizer: Shotaro Uto (Hokkaido University)
- 北極域研究船の概要と氷工学への貢献 赤根英介
- 北極域研究船における水中運航支援について 松沢孝俊
- 北極海航路における海氷による航行障害と氷況 大塚夏彦, 宇都正太郎, 佐藤恵子
- 平板への氷衝突荷重と構造応答の計測 澤村淳司, 木岡信治
- 画像解析技術を用いた船体表面上の氷片流れの解析 安齋圭祐, 水野滋也, 山内豊
- 海氷の微視構造と曲げ強度の関係 - 塩水氷作成時のSeedingがブライン分布と曲げ強度に与える影響の実験的考察 - 尾関俊浩, 折目啓輔, 安達聖, 澤村淳司
- 海氷船舶の氷況と水中抵抗の関係 - 水中抵抗推定における氷板サイズと氷密節度の影響 - 澤村淳司
- 氷海航行船舶シミュレーションにおける解析条件評価手法の開発と予備的解析 吉田裕哉, 金野祥久
- 浮氷群下流の氷片に作用する流体力の数値解析による調査および実験との比較 林諒汰, 金野祥久, 周金鑫, 北澤大輔
- 南部オホーツク海における水中航行の実船実験 松沢孝俊, 宇都正太郎

【第5会場 Room 5】

10:00 ~ 16:40 オーガナイズドセッション (OS5) 造船・海運におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)

Digital Transformation in Shipbuilding and Maritime Transformation

オーガナイザー：篠田岳思 (九州大学), 稗方和夫 (東京大学), 濱田邦裕 (広島大学)

Organizer: Takeshi Shinoda (Kyushu University), Kazuo Hiekata (The University of Tokyo), Kunihiro Hamada (Hiroshima University)

コンテナターミナルにおける脱炭素化に向けたステークホルダー分析	杉村佳寿, 篠田岳思, T. N. MATHIAS, 靄野佑馬
Energy Consumption Behavior Analysis of Transfer Cranes toward a DX Container Terminal	Tiago Novaes Mathias, Takeshi Shinoda, Yoshihisa Sugimura
DXコンテナターミナルの脱炭素のための外来シャーシの動態分析法に関する研究	靄野佑馬, 篠田岳思, 杉村佳寿, T. N. MATHIAS
マルチエージェントシミュレーションによる国際海運における脱炭素に向けた制度の評価に関する研究	野々村一歩, 稗方和夫
ステークホルダの意思決定を模擬した自動運航船の導入促進検討シミュレーション	中島拓也, 杉本友宏, 木村圭佑, 岡田雄大, 長谷川賢太, 稗方和夫, Bryan R. Moser
海上物流ビッグデータを利用した船舶基本計画支援システムのパナマックスバルクキャリアへの適用	斎藤堯, Dimas Angga Fakhri Muzhoffar, 和田祐次郎, 原田寛, 濱田邦裕
設計仕様の相関分析による船舶設計の構造化手法	佐藤佑亮, 高橋賢司, 戸来直樹, 小澤秀明, 青山和浩
模擬構造物を用いた組立実験による造船所のSCMと作業工程情報の取得に関する研究	篠田岳思, 中村智晴, 福田優作, 柳井和之, Tiago Novaes Mathias, 富田悠史, 田中太氏
造船所における船用品のサプライ・チェーンの改善に関する研究	篠田岳思, 苦瀬博仁, 野々村秀之, 吉瀬圭介, 濱田尚弥, 中村智晴, 船岡大, 福田優作, 金子大輔
Monitoring-Enhanced Virtual Shipyard Model for Supporting Improvement on Production Scheduling in Subassembly Process	Chenwei Gui, Zeli Zhou, Yuzhu Huang, Noboru Kiji, Masatoshi Sadano, Kazuhiro Aoyama
造船DXのためのDNN法を適用した建造作業の情報抽出法に関する研究 定点カメラ画像を用いた溶接情報の抽出	関寛太, 篠田岳思, 田中太氏

11月18日 (金)

時 間	表 題	講演者 著者
【第1会場 Room 1】		
8:30 ~ 11:10	オーガナイズドセッション (OS3) 自動運航船に関する技術・評価・実証 Autonomous Ships -Technology, Assessment and Validation- オーガナイザー：橋本博公 (大阪公立大学) Organizer: Hirotada Hashimoto (Osaka Metropolitan University) 自動離着岸操船システムの開発と実証 自動運航船のリスク解析支援ツールの開発に向けて 自動操船AIの評価方法についての考察 自動運航船のための避航航路計画アルゴリズム 完全自律航行船の設計・開発・実証のためのDFFASコンソーシアムのア プローチ - 社会実装を目的としたROUTE PLANNERの開発と実践的評 価手法 - 完全自律航行船の設計・開発・実証のためのDFFASコンソーシアムのア プローチ —MBSEとMBDを活用した自律航行システムの構築— 敵対的生成模倣学習による避航操船行動の再現	肥後佑平, 阪野大貴, 野邊大貴, 橋本博公 柚井智洋, 伊藤博子, 塩苺恵, 石村恵以子, 三宅里 奈, 工藤潤一, 河島園子 宮島秀規, 山田智章, 安立恭晴 吉岡舜, 橋本博公 岡田尚樹, 桑原悟, 平田裕一, 高橋英次, 石川貴浩, 金子辰典, 増田憲司, 有山光 暮田留依, 中島拓也, 樋口穰司, 西山尚材, 柳原智 哉, 櫻井美奈, 西村遥, 沓名弘二, 中村純 檜垣岳史, 橋本博公
11:10 ~ 11:50	一般講演 (GS1) 操縦性能 I Maneuverability I 司会：佐野将昭 (広島大学) Chair: Masaaki Sano (Hiroshima University)	
11:10 ~ 11:30	規則波中における肥型船の舵力の簡易推定式	飯田康之, 安川宏紀
11:30 ~ 11:50	狭水路を斜航する船体と舵に働く流体力について	高橋克尚, 古川芳孝, 大森拓也, 坂本信晶, 大橋訓 英, 茨木洋
13:00 ~ 14:00	一般講演 (GS2) 操縦性能 II Maneuverability II 司会：北川泰士 (海上技術安全研究所) Chair: Yasushi Kitagawa (National Maritime Research Institute)	
13:00 ~ 13:20	浅水域を斜航する模型船に働く流体力の水槽幅の影響	八谷洋輔, 佐野将昭, 奥田隆輔, 古川芳孝, 安川宏紀
13:20 ~ 13:40	ベクツイン舵を装備した船の流体力特性に関する研究 - 舵直圧力の表 現法の検討 -	渡部聖輝, 佐野将昭, 安川宏紀, 松田秋彦, 細萱和敬
13:40 ~ 14:00	高揚力舵を備えた船の操縦性能に関する実験的研究	山田慈真, 山下智大, 奥田隆輔, 安川宏紀, 松田秋彦
14:20 ~ 15:20	一般講演 (GS3) 操縦性能 III Maneuverability III 司会：大森拓也 (海上技術安全研究所) Chair: Takuya Omori (National Maritime Research Institute)	
14:20 ~ 14:40	フラップ舵を備えた船の操縦運動シミュレーション	山下智大, 安川宏紀, 奥田隆輔, 松田秋彦
14:40 ~ 15:00	舵表面圧力の積分で得られる舵直圧力に関する実験的検証	北川泰士, 葦澤遼太, 大橋訓英, 塚田吉昭
15:00 ~ 15:20	数値シミュレーションによる船の停止運動特性の調査	石橋聡, 田中進
15:20 ~ 16:00	一般講演 (GS4) 操縦性能 IV Maneuverability IV 司会：安川宏紀 (広島大学) Chair: Hironori Yasukawa (Hiroshima University)	
15:20 ~ 15:40	Viscous CFD Estimation of Rudder-Related Parameters in MMG Model for a Ship with Flap Rudder	Nobuaki Sakamoto, Ryosuke Suzuki, Takuya Ohmori, Toru Nakanishi, Kunihide Ohashi
15:40 ~ 16:00	狭水路における旋回運動時操縦流体力のCFD計算法	大森拓也, 坂本信晶, 大橋訓英

【第2会場 Room 2】

8:30 ~ 9:30	一般講演 (GS6) 小型ボート Small craft 司会：梅田直哉 (大阪大学) Chair: Naoya Umeda (Osaka University)	
8:30 ~ 8:50	不規則波中で小型高速船に生じるスパイク状加速度の予測	寺田大介, 絹笠瑞基, 片山徹, 平川嘉昭
8:50 ~ 9:10	LSTMを用いた小型高速旅客船の不規則向波中上下加速度の時系列予測	絹笠瑞基, 寺田大介, 片山徹
9:10 ~ 9:30	小型ボート低速走行時の操縦流体力特性について	林克典, 畠中浩行, 片山徹

- 9:30 ~ 10:50 **一般講演 (GS7) 不規則波中動揺 Ship motion in irregular sea**
司会：酒井政宏 (大阪大学) Chair: Masahiro Sakai (Osaka University)
- 9:30 ~ 9:50 不規則波中を前進する船が遭遇する波高、波周期、および船体応答の同時発現確率 箕浦宗彦
- 9:50 ~ 10:10 不規則波中におけるパラメトリック横揺れ発生条件の推定法 牧敦生, 丸山湧生, Yaliu Liu, Leo Dostal
- 10:30 ~ 10:50 ビルジキールによる船体表面圧力分布の回転中心高さ影響 片山徹, 吉田尚史
- 10:50 ~ 11:50 **一般講演 (GS8) 復原性能 Ship stability**
司会：片山徹 (大阪公立大学) Chair: Toru Katayama (Osaka Metropolitan University)
- 10:50 ~ 11:10 三次元個別要素法解析を用いた静的傾斜時の粒状貨物荷重に対する安息角影響の評価 鶴田若葉, 柳本史教, 石橋公也
- 11:10 ~ 11:30 Some Remarks on Simplified Operational Guidance for Parametric Rolling Naoya Umeda, Masahiro Sakai, Hirokazu Okamoto
- 11:30 ~ 11:50 An Averaging Method for Estimating Parametric Roll in Regular Longitudinal Waves by Uncoupled Roll Model with Restoring Variation due to Vertical Motions Masahiro Sakai, Naoya Umeda, Atsuo Maki
- 13:00 ~ 14:00 **一般講演 (GS9) 自動航行 Autonomous control**
司会：有馬正和 (大阪公立大学) Chair: Masakazu Arima (Osaka Metropolitan University)
- 13:00 ~ 13:20 養殖場における自動給餌機の為の自動補給船-ロボット漁船-の自動航行と自動着岸の研究 二瓶泰範, 季明耀, 阪本啓志, 増田憲和
- 13:20 ~ 13:40 Velocity Obstaclesを用いた船舶の自動衝突回避に関する研究 水野拓哉, 江田篤史, 許賀淳, 古川芳孝, 茨木洋
- 13:40 ~ 14:00 港湾構造物点検用水中ロボットの自動航行についての検討 喜多司, 田中敏成, 鈴木博善
- 14:20 ~ 15:00 **一般講演 (GS10) 海中機器・モニタリング I Underwater system and monitoring I**
司会：新井勲 (大阪公立大学) Chair: Rei Arai (Osaka Metropolitan University)
- 14:20 ~ 14:40 音波伝搬時間を用いたデータ同化法による潮流場再現 谷口直和, 陸田秀実, 作野裕司, 濱田邦裕, 荒井正純, 高橋俊之, 吉木健吾, 山本裕規
- 14:40 ~ 15:00 群知能海中グライダーによる長期海洋観測シミュレーション 溝口健斗, 小島かな子, 有馬正和
- 15:00 ~ 16:00 **一般講演 (GS11) 海中機器・モニタリング II Underwater system and monitoring II**
司会：折原秀夫 (ジャパン マリンユナイテッド株式会社) Chair: Hideo Orihara (Japan Marine United Corporation)
- 15:00 ~ 15:20 オープンフレーム型水中探査機周り流場と機体に作用する流体力の計測およびCFDによるその計算精度について 鈴木博善, 帯島滉生, 鎌田律樹
- 15:20 ~ 15:40 実船モニタリングにおける統計解析周期に関する検討 粉原直人, 白石耕一郎
- 15:40 ~ 16:00 データ同化手法を用いた流体力の推定と統計モデルによる状態推定値の周波数応答解析 花木孝明, 箕浦宗彦

【第3会場 Room 3】

- 8:30 ~ 9:30 **一般講演 (GS15) 波と風 I Wind and wave I**
司会：高木健 (東京大学) Chair: Ken Takagi (The University of Tokyo)
- 8:30 ~ 8:50 オートエンコーダによる方向波スペクトルの次元削減 - ニューラルネットワークを用いた海象推定手法の開発に向けて - 川村恭己, 片尾洋輝, 岡田哲男, 早川銀河, 満行泰河
- 8:50 ~ 9:10 Estimation of Directional Wave Spectra Using a Wave Height Sensor and Stress Sensors on Board a Large Container Ship Xue Liu, Tetsuo Okada, Xi Chen, Yasumi Kawamura, Taiga Mitsuyuki
- 9:10 ~ 9:30 Development of CNN-Based Sea State Estimation for Tank Test Data Considering the Uncertainty of Measurement Data Islam Shoeba, Yasumi Kawamura, Tetsuo Okada, Taiga Mitsuyuki, Xi Chen, Ginga Hayakawa
- 9:30 ~ 10:50 **一般講演 (GS16) 波と風 II Wind and wave II**
司会：宝谷英貴 (東京大学) Chair: Hidetaka Houtani (The University of Tokyo)
- 9:30 ~ 9:50 Joint Extremes of Wind and Wave under Tropical Cyclones Ryota Wada, Kosuke Sando, Jeremy Rohmer, Philip Jonathan
- 9:50 ~ 10:10 洋上風況観測のためのドップラーライダー用動揺吸収台とその制御方法の提案 山本裕介, 絹笠瑞基, 森田万葉, 片山徹
- 10:30 ~ 10:50 SPHによる波浪の数値減衰特性 平林紳一郎, 大久保社志樹

- 10:50 ~ 11:50 **一般講演 (GS17) 波と風III Wind and wave III**
司会：満行泰河 (横浜国立大学) Chair: Taiga Mitsuyuki (Yokohama National University)
- 10:50 ~ 11:10 高次スペクトル法による波浪内部の圧力場の数値計算 宝谷英貴, 藤本航, 松井貞興
- 11:10 ~ 11:30 Marginal Ice Zoneにおける水波の散乱に対する分散関係の検討 善麻里亜, 飯田隆人
- 11:30 ~ 11:50 Study of Impulse Response Function of Water Waves on Moving Point Md Shahidullah Kaiser, Takahito Iida
- 13:00 ~ 14:00 **一般講演 (GS18) 環境 I Global environment I**
司会：新里英幸 (日立造船株式会社) Chair: Hideyuki Niizato (Hitachi Zosen Corporation)
- 13:00 ~ 13:20 浮体式洋上風力発電の洋上施工時間推計モデルの解析 蓮見知弘, 横井威, 羽田絢, 中條俊樹, 藤原敏文
- 13:20 ~ 13:40 ガウス過程回帰による並進動揺型波力発電装置の運動推定の特長 梅田隼, 谷口友基, 岩崎宇, 古閑隆章, 藤原敏文
- 13:40 ~ 14:00 Review of the Open-Source Boundary Element Method Framework for Ocean Renewable Energy Yingyi Liu, Iñaki Zabala, Garrett Barter, David Ogden
- 14:20 ~ 15:20 **一般講演 (GS19) 環境 II Global environment II**
司会：飯島一博 (大阪大学) Chair: Kazuhiro Iijima (Osaka University)
- 14:20 ~ 14:40 Study Case for a Realistic Geological Formation of Carbon Dioxide Hydrate Storage - Multiscale Numerical Simulation - Alan Junji Yamaguchi, Toru Sato, Takaomi Tobase, Xinran Wei, Lin Huang, Jia Zhang, Jiang Bian, Tie-Yan Liu
- 14:40 ~ 15:00 船舶設計における脱炭素燃料化の影響について 佐藤宏一, 土田大騎, 鈴木克幸
- 15:00 ~ 15:20 Numerical Estimation of Hotspot of Floating Marine Plastic Debris within Tsushima Strait Using Adjoint Method Jiayua Hui, Shunsuke Kanao, Toru Sato
- 15:20 ~ 16:00 **一般講演 (GS20) 防災 Disaster prevention**
司会：橋本博公 (大阪公立大学) Chair: Hirotada Hashimoto (Osaka Metropolitan University)
- 15:20 ~ 15:40 多発する水害に対する浮体式防災住居の提案(その2) - 取水口面積が浮体基礎の浮上性能に与える影響について - 竹内鈴太, 南清和, 増田光弘
- 15:40 ~ 16:00 Ship Availability Evaluation from Pull-type Transportation Period of Nankai Trough Earthquake Hiroshi Matsukura

【第4会場 Room 4】

- 9:30 ~ 10:10 **一般講演 (GS21) 抵抗推進 I Ship resistance and propulsion I**
司会：金丸崇 (九州大学) Chair: Takashi Kanemaru (Kyushu University)
- 9:30 ~ 9:50 船尾水中翼による平水中及び波浪中抵抗低減効果の検証 日田吉信, 筒本達大, 横山徳幸
- 9:50 ~ 10:10 Wake-adapted Ducted Propeller for Full-scale Generic Underwater Vehicle - Numerical Analysis on Unsteady Propeller Forces Kenshiro Takahashi, Chris Gargan-Shingles
- 10:30 ~ 11:10 **一般講演 (GS22) 抵抗推進 II Ship resistance and propulsion II**
司会：新井淳 (防衛装備庁) Chair: Jun Arai (Acquisition, Technology & Logistics Agency)
- 10:30 ~ 10:50 気泡力学に基づく翼面のキャビティ形状の簡易推定法 安東潤, 金丸崇
- 10:50 ~ 11:10 フィン付舵の舵抗力低減効果に関する一考察 - 続報：プロペラ-舵系推進効率 - 金丸崇, 吉武朗, 安東潤
- 11:10 ~ 11:50 **一般講演 (GS23) 抵抗推進 III Ship resistance and propulsion III**
司会：安東潤 (九州大学) Chair: Jun Ando (Kyushu University)
- 11:10 ~ 11:30 初代青雲丸模型を対象とした伴流分布に対するプロペラ - 船体の干渉影響に関する数値的検討 新井淳, 毛利隆之
- 11:30 ~ 11:50 PIVを用いた改良型HVFCの効果推定 細野和樹, 伊藤孝樹, 高野真一, 山田卓慶, 川淵信, 川前克也
- 13:00 ~ 14:00 **一般講演 (GS24) 工作 I Manufacturing I**
司会：青山和浩 (東京大学) Chair: Kazuhiro Aoyama (The University of Tokyo)
- 13:00 ~ 13:20 造船所における人事活動の課題 平田大輔, 篠田岳思
- 13:20 ~ 13:40 多区画構造のバラスタックにおけるドレンコースの改善のための研究 渡邊虎春, 篠田岳思, 中森隆一, 劉廣帥, 黒木賢二, 小畑英郎, 田中太氏
- 13:40 ~ 14:00 Evaluation for Drain Course in Ballast Tank by Two-phase Flow Model Guangshuai Liu, Takeshi Shinoda, Takakazu Nakamori, Toraharu Watanabe, Kenji Kuroki, Hideo Obata, Takashi Tanaka

- 14:20 ~ 15:40 **一般講演 (GS25) 工作 II Manufacturing II**
司会：坪郷尚(大阪公立大学) Takashi Tsubogo (Osaka Metropolitan University)
- 14:20 ~ 14:40 船内騒音抑制のための音響管の管径に関する音響シミュレーションを用いた研究 田中太氏, 篠田岳思
- 14:40 ~ 15:00 船舶における居室の換気シミュレーションに関する研究 - ファンの最適化配置について - 趙曉光, 篠田岳思
- 15:00 ~ 15:20 組立式台船の船体強度のための簡易な評価手法の提案 銅冶祐司
- 15:20 ~ 15:40 超音波検知と可視化技術を応用したエアリーク検出装置の配管気密試験への適用に関する一考察 鎌尚憲, 服部仁, 金子正幸, 首藤一也, 緒方洋典, 谷野忠和, 秋元健太郎, 矢島浩

【第5会場 Room 5】

- 8:50 ~ 9:50 **一般講演 (GS26) 掘削技術 I Drilling technology I**
司会：井上朝哉 (海洋研究開発機構) Chair: Tomoya Inoue (Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)
- 8:50 ~ 9:10 流れ中における回転円柱周りの流量変化に関する実験的研究 鈴木雅洋, 居駒知樹, 相田康洋, 林昌奎
- 9:10 ~ 9:30 PIVによる回転円柱まわりの流れ場の可視化とレイノルズ応力に関する研究 福永佳晏, 鈴木雅洋, 居駒知樹, 相田康洋, 林昌奎
- 9:30 ~ 9:50 傾斜管における脈動スラリー流の移送評価に関する実験的研究 高野慧, 正信聡太郎, 金田成雄, 小野正夫
- 9:50 ~ 11:10 **一般講演 (GS27) 掘削技術 II Drilling technology II**
司会：林昌奎 (東京大学) Chair: Chang-Kyu Rheem (The University of Tokyo)
- 9:50 ~ 10:10 螺旋溝を有する浮力体の渦励振軽減性能 千賀英敬, 大島海里, 小林稜
- 10:30 ~ 10:50 Graph Attention機械学習による海洋科学掘削における異常検知 井上朝哉, 中川友進, 金子達哉, 和田良太, 三好啓介, 安部俊吾
- 10:50 ~ 11:10 ドリルパイプのStick-Slip発生要因に関する解析解及び数値解による検討 金子達哉, 井上朝哉, 和田良太, 勝井辰博, 鈴木博善
- 11:10 ~ 11:50 **一般講演 (GS28) 疲労 Fatigue**
司会：柴原正和 (大阪公立大学) Chair: Masakazu Shibahara (Osaka Metropolitan University)
- 11:10 ~ 11:30 等価波浪分布(EWP)に基づく疲労強度評価手法の開発 井上拓海, 武内崇晃, 大沢直樹
- 11:30 ~ 11:50 疲労設計荷重に関する検討 山本規雄, 杉本友宏, 石橋公也
- 13:00 ~ 14:00 **一般講演 (GS29) 溶接 Welding**
司会：辰巳晃 (大阪大学) Chair: Akira Tatsumi (Osaka University)
- 13:00 ~ 13:20 Study on Equivalent Distributed Stress Determination Technique Based on Generalized Matrix Inversion (Part 2) - Analysis of 3D Embedded Penny-Shaped Crack - Zwe Letyar Htut, Naoki Osawa, Satoyuki Tanaka, Phyo Myat Kyaw, Masahiro Toyosada
- 13:20 ~ 13:40 面外ガセット溶接試験片および栓溶接試験片における残留応力を考慮した疲労強度の一評価法 吉原幸秀, 大沢直樹, 村川英一
- 13:40 ~ 14:00 A Practical Displacement-controlled Simulation of Local Residual Stress Induced by High-frequency Mechanical Impact Treatment Peiyuan Dai, Phyo Myat Kyaw, Naoki Osawa, Sherif Rashed, Donghui Ma, Jun Okada, Masahito Honnami